

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

栃木県大田原市北金丸2600番1

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	タカギ クニノリ 高木 邦格 (平成6年12月)		
学長	タニ シュウイチ 谷 修一 (平成13年10月)		
学部長	イガ タツジ 伊賀 立二 (平成17年4月)	タケダ ヒロシ 武田 弘志 (平成19年4月)	学部長任期満了に伴う交代 ^⑩
学科長等	イガ タツジ 伊賀 立二 (平成17年4月)	タケダ ヒロシ 武田 弘志 (平成19年4月)	学科長任期満了に伴う交代 ^⑩

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
薬学部 薬学科 学士(薬学)	4 年	150 人	- 年次 人	600 人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	150 人	(-) 180 人	(-) 180 人	(-) 180 人	1.07倍	平成18年度より6年制課程へ移行。入学定員180人、収容定員1,080人として、平成17年12月5日付、収容定員増の認可を受けた。
志願者数	1,887	(-) 1,037	(-) 611	(-) 529		
受験者数	1,773	(-) 993	(-) 586	(-) 511		
合格者数	342	(-) 417	(-) 458	(-) 465		
B 入学者数	192	(-) 189	(-) 181	(-) 171		
入学定員超過率 B/A	1.28	(-) 1.05	(-) 1.00	(-) 0.95		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備 考
1年次	[] 191	[] 190	[] 184	[] 190	
2年次	/	[] 190	[] 187	[] 171	
3年次	/	/	[] 184	[] 176	
4年次	/	/	/	[] 182	
計	[] 191	[] 380	[] 555	[] 719	

(5) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成17年度	計 [0] 0	計 [0] 192	[0.0%] 0.0%
	うち平成17年度入学者 0人	うち平成17年度 192人	
	(主な退学理由)		
平成18年度	計 [0] 6	計 [0] 381	[0.0%] 1.6%
	うち平成17年度入学者 1人	うち平成17年度 192人	
	うち平成18年度入学者 5人	うち平成18年度 189人	
	(主な退学理由) 他の機関への入学・転学・編入学、家庭の事情、その他		
平成19年度	計 [0] 7	計 [0] 562	[0.0%] 1.2%
	うち平成17年度入学者 0人	うち平成17年度 192人	
	うち平成18年度入学者 4人	うち平成18年度 189人	
	うち平成19年度入学者 3人	うち平成19年度 181人	
	(主な退学理由) 他の機関への入学・転学・編入学、家庭の事情、その他		
平成20年度	計 [0] 0	計 [0] 733	[0.0%] 0.0%
	うち平成17年度入学者 0人	平成17年度 192人	
	うち平成18年度入学者 0人	平成18年度 189人	
	うち平成19年度入学者 0人	平成19年度 181人	
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 171人	
	(主な退学理由)		

2 授業科目の概要

〈薬学部 薬学科〉

(1) 授業科目表

	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文科学系	総合講義	1-2-3-4		-2							大学全体における総合教育科目の学系見直しに伴い、総合系に移行⑯
	文学	1-2-3-4		2							総合教育科目充実のため、他学部学科と同様に設置⑯
	演劇論	1-2-3-4		2							
	心理学	1-2-3-4		2							コミュニケーション能力を高めるため、必修科目として設置⑯
	哲学	1-2-3-4		2							
	コミュニケーション概論	1-2-3-4		2							コミュニケーション能力を高めるため、必修科目として設置⑯
	人間学	1-2-3-4		2							
	歴史学	1-2-3-4 未開講		2							担当兼任教員の都合がつかなかったため⑯
	倫理学	1-2-3-4		2							総合系に移行⑯
	文化人類学	1-2-3-4		2							
	教育学	1-2-3-4		2							
	死生学概論	1-2-3-4		2							
	映画論	1-2-3-4		2							
	生きがい論	1-2-3-4		2							
	総合講義	1-2-3-4		-2							
法学	1-2-3-4		2								
社会学	1-2-3-4		2								
日本経済論	1-2-3-4		2								
マスメディア論	1-2-3-4		2								
福祉経済学	1-2-3-4 未開講		2							担当兼任教授退職に伴い、後任者を選定中⑯	
東南アジアの経済・社会・文化	1-2-3-4		2							担当兼任教授退職に伴い、後任者を選定中⑯	
国際関係論	1-2-3-4 未開講		2								
国際経済論	1-2-3-4 未開講		2							担当兼任教授退職に伴い、後任者を選定中⑯	
国際医療福祉論	1-2-3-4		2							大学全体における総合教育科目の学系見直しに伴い、総合系に移行⑯	
組織運営管理論	1-2-3-4		2								
海外保健福祉事情	1-2-3-4		2								
社会保障制度論	1-2-3-4		2								
地球環境論	1-2-3-4		2								
ボランティア論	1-2-3-4		2								
公開講座	1-2-3-4		-1								
日本手話Ⅰ	1-2-3-4		2								
日本手話Ⅱ	1-2-3-4		2								
福祉環境学	1-2-3-4		2								
経済学基礎Ⅰ	1-2-3-4		2								
経済学基礎Ⅱ	1-2-3-4		2								
総合講義	1-2-3-4		-2							大学全体における総合教育科目の学系見直しに伴い、総合系に移行⑯	
自然・情報科学系	統計学	1-2-3-4	2	-2						専門基礎科目の「薬学統計学」を廃止し、「統計学」を必修として内容を統合⑯	
	疫学・保健医療統計学	1-2-3-4		2		+				専任担当教員退職のため、兼任教員に変更	
	数学	1-2-3-4	2	-2						実質1年次選択としているため4年制課程は履修済⑯	
										専門基礎科目の「薬学数学」を廃止し、「数学」を必修として内容を統合⑯	

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
物理学	1・2・3・4	2	2		+					一部内容を「薬品分析化学Ⅰ・Ⅱ」に移し、「物理学」は高校での未修者を対象とした内容に変更し、選択科目とした ^⑮ 専任教員から兼任教員へ身分変更 ^⑮
化学	1・2・3・4	2			★					
生物学	1・2・3・4	2				★				
情報科学	1・2・3・4		2							大学全体における情報系科目の見直しに伴い「情報科学」を「コンピュータの基礎」に科目名変更 ^⑮
コンピュータの基礎	1・2・3・4		2							
情報処理	1・2・3・4	1	2							平成18年度入学生から、講義を主とした内容から演習中心にした内容に変更し単位数を減じた ^⑮
情報処理Ⅰ	1・2・3・4		1							大学全体における情報系科目の見直しに伴い「情報処理」を習熟度別にⅠ、Ⅱ、Ⅲに分割 ^⑮
情報処理Ⅱ	1・2・3・4	1								
情報処理Ⅲ	1・2・3・4		1							
生命倫理	1・2・3・4	2								
医学/医療史	1・2・3・4	2								
人間工学	1・2・3・4	2								
総合講義	1・2・3・4		2							大学全体における総合教育科目の学系見直しに伴い、総合系を新たに設置し移行 ^⑮ （前掲）
人間と性	1・2・3・4		2							総合教育科目充実を図るため、他学部学科と同様に新たに配置 ^⑮
公開講座	1・2・3・4		1							大学全体における総合教育科目の学系見直しに伴い、総合系を新たに設置し移行 ^⑮ （前掲）
英語Ⅰ-1	1	2								
英語Ⅰ-2	1	2								
英語Ⅰ-3	1	2								
英語Ⅱ-1	2	2								
英語Ⅱ-2	2	2								
英語Ⅱ-3A	2・3・4		1							
英語Ⅱ-3B	2・3・4		1							
英語Ⅱ-4A	2・3・4		1							
英語Ⅱ-4B	2・3・4		1							
英語Ⅱ-5A	2・3・4		1							
英語Ⅱ-5B	2・3・4		1							
英語Ⅲ-1A	3・4		1							
英語Ⅲ-1B	3・4		1							
英語Ⅲ-2	2・3・4		1							
英語A-1	1	1					+			
英語A-2	1	1								
英語A-3	2・3・4		1							
英語A-4	2・3・4		1				★			
英語B-1	1	1								
英語B-2	1	1								
英語C-1	1・2・3・4		1				★			大学全体における英語担当教員の配置見直しに伴い、野中准教授の担当科目を一部変更 ^⑮
英語C-2	1・2・3・4		1				★			
英語C-3	1・2・3・4		1							
英語C-4	1・2・3・4		1				★			
英語D-1	2・3・4		1				1			
英語D-2	2・3・4		1				★			
英語E-1	2・3・4		1				★			
英語E-2	2・3・4		1				★			
英語F	1	1					★			
英語G-1	1・2・3・4		1							
英語G-2	1・2・3・4		1							教育の充実を図るため、他学部学科同様上級者用の科目「英語G-1」、「英語G-2」を配置 ^⑮
フランス語Ⅰ	1・2・3・4		2							
フランス語Ⅱ	1・2・3・4		2							
フランス語初級1	1・2・3・4		1							
フランス語初級2	1・2・3・4		1							
フランス語中級1	1・2・3・4		1							担当教員選定中のため ^⑮
	未開講									

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目 外国語系	フランス語中級 2	1・2・3・4 未開講	1							担当教員選定中のため⑯
	ドイツ語 I	1・2・3・4	2							平成18年度入学生対象から、語学につき、全て半期制を採用し、1単位化にし、授業内容を整理した。なおこれは他学部全学科と共通にした⑯
	ドイツ語 II	1・2・3・4	2							
	ドイツ語初級 1	1・2・3・4	1							
	ドイツ語初級 2	1・2・3・4	1							
	ドイツ語中級 1	1・2・3・4	1							
	ドイツ語中級 2	1・2・3・4	1							
	スペイン語 I	1・2・3・4	2							
	スペイン語 II	1・2・3・4	2							
	スペイン語初級 1	1・2・3・4	1							
	スペイン語初級 2	1・2・3・4	1							
	スペイン語中級 1	1・2・3・4	1							
	スペイン語中級 2	1・2・3・4	1							
	中国語 I	1・2・3・4	2							
	中国語 II	1・2・3・4	2							
	中国語初級 1	1・2・3・4	1							
	中国語初級 2	1・2・3・4	1							
	中国語中級 1	1・2・3・4	1							
	中国語中級 2	1・2・3・4	1							
	保健・体育系	健康科学理論	1・2・3・4	1						
健康科学実践		1・2・3・4	1							
小計			18	93	0	2	0	0	0	0
小計			21	106	0	0	1	0	0	0

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置					備 考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 基 礎 (共 通)	公衆衛生学	1-2-3-4	2			★					基本的知識を履修した後に履修した方が好ましいと判断し、配当年次を4年次に引き上げた⑬ 4年次の実習を考慮し、配当年次を3年次に変更（4年制課程のみ）⑭ 担当兼担教員の都合がつかなかったため⑮ 6年制課程移行時、医療薬学教育を強化する観点から、必修化した⑬ 担当兼担教員の都合がつかなかったため⑮ 他学部学科と関連した科目を充実させるため他学部と合わせ、科目を設置した⑬
	救急医学	2・3		1							
	リハビリテーション概論	1・2・3・4		2							
	関連職種連携論	1・2・3		2							
	ケアマネジメント論	2・3・4 未開講		1							
	ケースワーク論	1・2・3・4		1							
	医療管理学	1・2・3・4		2							
	保健医療福祉制度論	1・2・3・4		2							
	社会福祉学	1・2・3・4		2							
	臨床心理学概論	1・2・3・4	2	2							
	医療情報学概論	2・3・4		2							
	生体情報処理概論	2・3・4 未開講		2							
	福祉援助工学概論	1・2・3・4		2							
	関連職種連携実習	4		1							
専 門 基 礎	リスクマネジメント論	3・4		2							
	薬学英語	+	+								
	薬学英語演習Ⅰ	2	1		1	★					
	薬学英語演習Ⅱ	2	1		★						
	薬学英語演習Ⅲ	3	1		★						
	薬学英語演習Ⅳ	3	1		★						
	薬学数学	+	+								
	生理解剖学	+	+								
	解剖学	2	2								
	生理学	2	2		1						
	薬学統計学Ⅰ演習	+	+		★						
	物理学実習	+	+		★				★		
	化学実習	1	1		★			1	★		
	生物学実習	1	1		★	★			★		
コミュニケーション実習	2	1									
くすりと情報	-2	+		★							
くすりと情報の実習Ⅰ	-2	+						★			
くすりと情報の実習Ⅱ	-2		+					★			

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
免疫学	-2	+							+	6年制課程移行時、科目内容を見直し、「疾病と病態生理学Ⅰ～Ⅳ」へ内容を移行した⑬
病態生理学	-2	+			★					
感染症学	2-3	1			★					
薬学概論	1	2			★		-★			予定教員が就任辞退のため、教員変更⑰（現在人選中） 6年制課程移行時、担当者を調整⑬
有機化学 生命有機化学	1 +2	2 2			1 ★				1	
薬品分析化学	-+	-2					+			6年制課程移行時、教育効果を考慮し、「薬品分析化学」を「薬品分析化学Ⅰ」と「薬品分析化学Ⅱ」とに分割・新設し、Ⅱは2年次配当とした⑬
薬品分析化学Ⅰ	1	2					+			
薬品分析化学Ⅱ	2	2					★			専任教員退職（後任者公募中）⑱
生化学Ⅰ	1	2					★			専任教員退職（後任者選考中）⑳
生化学Ⅱ	2	2			-★					
衛生化学	-2	-2			+		-★			
衛生化学Ⅰ	3	2			1					6年制課程移行時、教育効果を考慮し、「衛生化学」を「衛生化学Ⅰ」と「衛生化学Ⅱ」とに分割・新設し、Ⅰ・Ⅱとも3年次配当とした⑬
衛生化学Ⅱ	3	2			★					
創薬有機化学 薬用植物学	2 1	2 2			1 ★				1	6年制課程移行時、カリキュラム充実のため追加⑬
分子生物学 応用分子生物学	2 2	2 2		2	1		1		1	
機器分析学 薬品物理化学・放射化学	2 -2	2 -2					-★ +			専任教員退職（後任者公募中）⑱
薬品物理化学	2	2					1			6年制課程移行時、教育効果を考慮し、「薬品物理化学・放射化学」を「薬品物理化学（2単位）」と「放射化学（1単位）」とに分割した⑬
放射化学	2	1								
天然物化学・生薬学	-2	-2			+				+	
生薬学	2	2			1				1	6年制課程移行時、教育効果を考慮し、「天然物化学・生薬学」を「生薬学（2単位）」と「天然物化学（2単位）」とに分割した⑬
天然物化学	2	2			★					

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
薬剤学	2-3	2			+				+	6年制課程移行時、教育効果を配慮し配当年次を変更⑱ 「薬剤学」につき、助手の配置を見直した⑲ 「薬理学Ⅲ」につき、教育効果を配慮し必修とした⑲ 「薬剤学」につき、専任教員退職（後任者選考中）⑳ 専任教員退職（後任者選考中）㉑
薬物動態学	2-3	2			1				1	
薬理学Ⅰ	2-3	2			1				1	
薬理学Ⅱ	3	2					1			
薬理学Ⅲ	3-4	2	-2		★		★			
臨床薬理学	3-4	2			1				1	
医薬品安全性学	3-5	2			★					
ゲノム創薬科学	3	2			+				1	
医薬品開発論	3		2		★					
化学療法学	3	2			1					
疾病と病態生理学Ⅰ	2-3	2			+					6年制課程移行時、カリキュラム充実のため追加⑲ 「疾病と病態生理学Ⅰ、Ⅲ」につき、教育効果を考慮し配当年次を変更。 専任教員1名の就任遅延に伴い、科目担当者を変更⑲
疾病と病態生理学Ⅱ	3	2			1					
疾病と病態生理学Ⅲ	3-4	2			2					
疾病と病態生理学Ⅳ	4	2			1					
臨床薬剤学Ⅰ	3	2			★	+				
臨床薬剤学Ⅱ	3-4	2	-2		1				+	
臨床薬物動態学Ⅰ	3-4	2			★	★				
臨床薬物動態学Ⅱ	3-4	2			★					
薬物治療学Ⅰ	3-4	2			1				1	
薬物治療学Ⅱ	3-4	2	-2		★					
薬物治療学Ⅲ	5	2			★					
くすりと情報	2	2			★					6年制課程移行時、教育効果を配慮し、専門基礎から専門科目へと区分変更⑲ 専任教員退職（後任者選考中）㉑

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置					備考		
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
臨床医学概論	1-3	2			★						カリキュラム充実のため、「臨床検査医学概論」に変更し、専任教員を配置した⑬	
臨床検査医学概論	3	2			1							
臨床試験管理学	3-4	2	2		1				1			6年制課程移行時、教育効果を配慮し配当年次を変更、必修とした⑬
医薬経済学 医療薬学Ⅰ	3 3-4	2	2		1 ★		1					
医療薬学Ⅱ	3・4 5	2	2		1				1			6年制課程移行時、教育効果を配慮し、配当年次を変更⑬ 「医療薬学Ⅰ」につき、予定教員が就任辞退のため、教員変更⑰（現在人選中）科目担当を見直し、教授を配置⑬ 「医療薬学Ⅱ」につき、必修とした⑬
製剤設計学 東洋医学概論	4 4		2 2									
漢方医学	4		2								6年制課程移行時、カリキュラム充実のため追加⑬	
医療関係法規・日本薬局方	4	2			1						6年制課程移行時、教育効果を考慮し、「医療関係法規・日本薬局方Ⅰ」と「医療関係法規・日本薬局方Ⅱ」とに分割・新設し、Ⅰに助手を配置し、Ⅱは5年次配当とした⑬	
医療関係法規・日本薬局方Ⅰ	4	2			★				1			
医療関係法規・日本薬局方Ⅱ	5	2			★							
環境薬学	3-4		2		★							
環境衛生学	4	2			1						6年制課程移行時内容を見直しし、専任教員を配置、「環境衛生学」と変更、必修とした⑬ 教育効果を配慮し、「環境薬学」の配当年次を変更⑬	
医薬品の情報学	3・4 5	2	2								6年制課程移行時、教育効果を配慮し、配当年次を変更⑬ 「医薬品の情報学」につき、カリキュラムを充実のため必修とした（6年制課程）⑬ 担当予定兼任教員就任辞退のため、担当者を変更⑳	
セーフティマネジメント論	3・4 5		2								6年制課程移行時、教育効果を配慮し、配当年次を変更した⑬	
医薬品管理学	3・4 5		2		★							
薬をつくる・そだてる 一般用医薬品概論	4 3 4		2 2		★							

専 門 教 専 門

育 科 目	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
育 科 目	CRC実践論	3・4 5		2		★						6年制課程移行時、教育効果を配慮し、配当年次を変更した⑬ 担当予定専任教員の都合により、担当者を変更⑳	
	セルフメディケーション学	5		2								6年制課程移行時、カリキュラム充実のため追加⑬	
	健康食品・機能性食品学	5		2									
	MR実践論	3・4 5		2		★							
	薬の流通論	2 4		2		★							
	薬局経営論	3・4 5		2								6年制課程移行時、教育効果を配慮し、配当年次を変更した⑬	
	製薬企業論	4		2		★							
	薬の歴史学	2 4		2									
	薬と香粧論	3・4 5		2									
	物理系薬学実習	-2	+					★			-2		
	物理系薬学実習Ⅰ	2	1					★			2	6年制課程移行時、教育効果を考慮し、「物理系薬学実習」を「物理系薬学実習Ⅰ」と「物理系薬学実習Ⅱ」とに分割・新設し、2年次配当とした⑬	
	物理系薬学実習Ⅱ	2	1					★					
	化学系薬学実習Ⅰ	2	1					★		★	2		
	化学系薬学実習Ⅱ	2	1					★		★	★	教育効果を配慮し、助教を配置⑬	
生物系薬学実習Ⅰ	-2 3	1					★		★	2 *	教育効果を考慮し、配当年次を変更した⑬		
生物系薬学実習Ⅱ	-2 4	1					★		★	★			
専 門	医療系薬学実習Ⅰ	1	1					★	1	★	★	2	予定教員が就任辞退のため、教員変更⑰（現在人選中） 6年制課程移行時、担当を見直し、助教を配置した⑬
	医療系薬学実習Ⅱ	-2 3 -4	1					★		★		★	6年制課程移行時、教育効果を考慮し、配当年次を変更した⑬
	医療系薬学実習Ⅲ	-2 3 -4	1					★				★	教育効果を考慮し、配当年次を変更した⑳
	医療系薬学実習Ⅳ	-2 4	1					★		★	★	★	予定教員が就任辞退のため、教員変更⑰（現在人選中） 6年制課程移行時、講師を配置⑬

	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教 専 門 育 科 目	くすりと情報の実習Ⅰ	2	1				★	★	1		6年制課程移行時、内容を見直し、区分を「専門基礎」から「専門科目」へと移し、Ⅱにつき配当年次を変更した⑮（前掲） 予定教員が就任辞退のため、教員変更⑰（現在人選中） 6年制課程移行時、担当者を調整⑱
	くすりと情報の実習Ⅱ	3-4-5	1				★	★	★		
	ゲノム科学実習	3	1			★	★			2	
	臨床生化学実習	3	1			★				★	
	衛生系薬学実習	3-5	1			★				2	
	病院・保険薬局実習Ⅰ	4	2			★		★		7	
専 門	病院・保険薬局実習Ⅰ	3-4-5	4			★	1	1		★	6年制課程移行時、カリキュラム充実のため追加⑱ 教育効果を配慮し、配当年次を変更⑲
	病院・保険薬局実習Ⅱ	4	2			★	★		★	★	予定教員が就任辞退のため、教員変更⑰（現在人選中） 6年制課程移行時、教育効果を考慮し、配当年次・単位数を変更担当を見直し、助教授、講師を配置した⑱
	病院・保険薬局実習Ⅱ	5-6	10			★	★	★	★	★	予定教員が就任辞退のため、教員変更⑰（現在人選中） 6年制課程移行時、教育効果を考慮し、配当年次・単位数を変更担当を見直し、講師を配置した⑱ 教育効果を考慮し、助教を配置⑲

	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教 専 門 育 科 目	病院・保険薬局実習Ⅲ	5・6	10			★	★	★		★	6年制課程移行時、教育効果を考慮し、科目を追加した⑮ 6年制課程移行時、カリキュラムを見直し、配当年次及び科目名称を変更した⑮ 教育効果を配慮し、助教を配置⑯ 6年制課程移行時、カリキュラムを見直し、必修とし、配当年次を変更した⑮ 教育効果を配慮し、助教を配置⑯
	特別実習・演習	4	2			★	★	★	★	1	
	特別薬学講義・演習	6	2			★	★	★	★	★	
	卒業研究	4		2		★	★	★	★	★	
	卒業研究	5・6	4			★	★	★	★	★	
小計			90	70	0	18	4	2	0	32	
			160	70	0	23	4	2	2	32	6年制課程移行による変更後
合計			108	163	0	20	4	2	0	32	
			181	176	0	23	5	2	2	32	6年制課程移行による変更後

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 68	科目 88	科目 0	科目 156	科目 89 [21]	科目 104 [16]	科目 0 [0]	科目 193 [37]	6年制課程移行に伴う変更後

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	歴史学	2	1・2・3・4	選択	担当兼任教員本務多忙のため。なお、1年次～4年次までの選択科目であり、本年度未開講としても支障はない。
2	福祉経済学	2	1・2・3・4	選択	担当兼任教授退職のため（後任者選定中）。なお、1年次～4年次までの選択科目であり、本年度未開講としても支障はない。
3	国際関係学	2	1・2・3・4	選択	同上
4	国際経済論	2	1・2・3・4	選択	同上
5	フランス語中級1	2	1・2・3・4	選択	担当者選定中のため。なお、1年次～4年次までの選択科目であり、本年度未開講としても支障はない。
6	フランス語中級2	2	1・2・3・4	選択	同上
7	ケアマネジメント論	1	2・3・4	選択	他学部での開講調整に合わせたため。なお、2年次～4年次までの選択科目であり、本年度未開講としても支障はない。
8	生体情報処理概論	2	2・3・4	選択	他学部での開講調整に合わせたため。なお、2年次～5年次までの選択科目であり、本年度未開講としても支障はない。
9	CRC実践論	2	3・4 5	選択	履修希望者がいなかった為

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	薬学英语	1	1	必修	6年制課程移行に伴い、「薬学英语演習Ⅰ～Ⅳ」にその内容を割り振ることとしたため。なお、4年制課程生は履修済み。
2	薬学数学	1	1	必修	6年制課程移行に伴い、「数学」にその内容を割り振ることとしたため。なお、4年制課程生は履修済み。
3	薬学統計学・演習	1	1	必修	6年制課程移行に伴い、「統計学」にその内容を割り振ることとしたため。なお、4年制課程生は履修済み。
4	物理学実習	1	1	必修	6年制課程移行に伴い、「物理系薬学実習」にその内容を割り振ることとしたため。なお、4年制課程生は履修済み。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については他学部での開講状況、担当者の都合または選定中によるものであるが、いずれの科目も複数年次での選択科目であり、学生の履修への影響はない。なお、学生には年度初めに行う履修登録時に未開講科目の周知を行っている。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.07$$

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学								備考
学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	定員 超過率	学位又 は称号	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人	倍				
保健医療学部								栃木県大田原市 北金2600番1	平成19年4月 学部名称を保健 学部から保健医 療学部へ変更⑱
看護学科	4	100	-	400	1.27	学士(看護学)	平成7年度		
理学療法学科	4	80	-	320	1.26	学士(理学療法学)	"		
作業療法学科	4	80	-	320	1.25	学士(作業療法学)	"		
言語聴覚学科	4	80	-	320	1.23	学士(言語聴覚学)	"		
視機能療法学科	4	40	-	160	1.24	学士(視機能療法学)	平成14年度		
放射線・情報科学科	4	100	-	400	1.25	学士(放射線・情報科学)	平成7年度		
医療福祉学部									平成20年4月 医療福祉学科に3 年次編入学定員5 名追加㉑
医療経営管理学科	4	100	-	400	1.05	学士(医療経営管理学)	平成9年度		
医療福祉学科	4	140	5	570	0.93	学士(医療福祉学)	平成9年度		
福岡リハビリテーション学部								福岡県大川市 榎津字中曾利 137番1	平成19年4月 学部名称をリハ ビリテーション 学部から福岡リ ハビリテーショ ン学部へ変更⑲ 理学療法学科の 入学定員を40名 から80名へ定員 増。また言語聴 覚学科を開設⑲
理学療法学科	4	80	-	320	1.31	学士(理学療法学)	平成17年度		
作業療法学科	4	40	-	160	1.24	学士(作業療法学)	"		
言語聴覚学科	4	40	-	160	1.02	学士(言語聴覚学)	平成19年度		
小田原保健医療学部								神奈川県小田原 市城山一丁目 697番5号	
看護学科	4	50	-	200	1.17	学士(看護学)	平成18年度		
理学療法学科	4	40	-	160	1.27	学士(理学療法学)	"		
作業療法学科	4	40	-	160	1.27	学士(作業療法学)	"		

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認可時 (平成16年11月30日)	(その他大学全般に関する事項) ・医療福祉学生医療経営管理学科 の定員超過の是正に努めること。	・入学試験実施時における合格者 数の決定にあたり、予備校の志願 者動向調査等の資料を活用し、歩 留まり率をかなり細かく見極めて いった。このため、平成15年度 入試では1.39だった超過率が16年 度では1.29、17年度においては 1.2となり、定員超過の是正の結 果として反映できた。	特になし
年次計画履行状況 調査時 (平成17年5月1日)	特になし	特になし	特になし
年次計画履行状況 調査時 (平成18年5月1日)	特になし	特になし	特になし
年次計画履行状況 調査時 (平成19年4月1日)	特になし	特になし	特になし

7 その他全般的事項

<薬学部薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 薬草園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専用薬草園の活用、及び同用地に隣接する「憩の森」の一部を整備していく。 	<p>① 薬草園の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専用薬草園に、まず主要草木を植栽開始。ただし、元々の土壌のせい、根付きにくい、土の入れ替えからやり直し、今後基礎から整備を行っていく。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会を設置（別紙「国際医療福祉大学FD委員会規程」参照）</p> <p>b 委員会の開催状況 毎月1回、第2火曜日に開催。各学科より教員1名が委員として参加。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員研修会に実施について ・ 学内研究費発表会の実施について ・ FD委員会活動報告書の作成について ・ その他 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員研修会 ・ 授業評価アンケート <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員研修会：毎年テーマを設定し、そのテーマにおける各学科の取り組み発表、グループ討議・発表を行う。 ・ 授業評価アンケート：各専任教員が任意の担当科目2科目を選び、学生にからの評価を受ける。授業に関し5段階の評価を受けるとともに、自由記述欄を設けている。 <p>c 開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員研修会：毎年1回実施。専任教員は全員参加を義務づけている。 ・ 授業評価アンケート：年2回、前期と後期に実施。専任教員は全員実施を義務づけている。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員研修会：FD委員会において当該研修会の総括を行い、授業改善の一助としている。 ・ 授業アンケート：各教員および所属長にアンケート結果をフィードバックを行い、問題のある教員には改善指導を行う。
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙のとおり)
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・平成20年4月10日
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係省庁、大学、実習施設等へ各1冊配付
 - ・ホームページ上に公開。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成19年度に評価機関（(財)日本高等教育評価機構）の評価を受け、平成20年3月19日付で認定を受けた。
 - なお、改善を要する点なし。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年1月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.iuhw.ac.jp/about/setti.html>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年1月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.iuhw.ac.jp/about/setti.html>)